

科目番号	E B 2 0 6						
科目名	林業機械学(技能講習等2)						
担当教員	尾崎 真也			所属等	県立森林大学校森林教育専門員		
科目区分	林業機械			人材養成の方針	即戦力	リーダー	地域貢献
対象学年	2年			授業形態	実習		
開講時期	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	単位数	1	
授業時間数	17			コマ	(34 単位時間)		
実務経験のある教員による授業科目				—	左の実務経験の内容	—	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無				○	左の実務経験の内容	安全衛生規則で定める特別教育の講師の資格を満たす者	
実務経験を活かした授業内容	労働安全衛生規則で定める特別教育の実施						

目的	林業機械を安全に運転できるように特別教育を受講し、必要な知識及び技能を習得する。						
概要	簡易架線集材装置等の運搬に係る特別教育、伐木等機械の運転の業務に係る特別教育を受講。						
キーワード	特別教育						
関連する科目	林業機械学、林業架線学、林業労働安全、素材生産総合実習						
到達目標	○	森林林業の即戦力として活躍するための実践的な技能の習得					
	—	森林林業の次代のリーダーとなるための専門知識及び技術の習得					
	—	多自然地域の振興や課題解決に貢献するための幅広い知識及び技術の習得					
評価方法	出席60%、授業態度40%						

授業計画	テーマ	講義内容
1～2	簡易架線集材装置等の運搬に係る特別教育	簡易架線集材装置等に関する知識 簡易架線集材装置等の走行及び作業に関する装置の構造及び取扱いの方法に関する知識
3～7	簡易架線集材装置等の運搬に係る特別教育	簡易架線集材装置等の作業に関する知識 簡易架線集材装置等の運転に必要な一般的事項に関する知識 関係法令
8～12	簡易架線集材装置等の運搬に係る特別教育	ワイヤーロープの取扱
13～17	簡易架線集材装置等の運搬に係る特別教育	簡易架線集材装置等の走行の操作 簡易架線集材装置等の作業の為の装置の操作

テキスト	林業・木材製造業労働災害防止協会テキスト
参考書	
関連する資格	上記特別教育に係る修了証
備考	関係法令：労働安全衛生規則第36条

科目番号	E B 2 0 9						
科目名	林業機械学 実習 3						
担当教員				所属等	委託林業事業体		
	尾崎 真也				県立森林大学校森林教育専門員		
科目区分	林業機械			人材養成の方針	即戦力	リーダー	地域貢献
対象学年	2年			授業形態	実習		
開講時期	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	単位数	2	
授業時間数	35			コマ	(70 単位時間)		
実務経験のある教員による授業科目				—	左の実務経験の内容	—	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無				○	左の実務経験の内容	高性能林業機械オペレーター	
実務経験を活かした授業内容	高性能林業機械オペレーターの指導のもと、高性能林業機械の安全な操作技術を学ぶ						

目的	高性能林業機械の基本操作実習						
概要	プロセッサ、グラブプル、スイングヤード、フォワード等の基本操作を習得する。						
キーワード	走行集材機械、伐木等機械、簡易架線集材装置						
関連する科目	林業機械学(技能講習等1a, 1b, 1c. d, 2)						
到達目標	○	森林林業の即戦力として活躍するための実践的な技能の習得					
	—	森林林業の次代のリーダーとなるための専門知識及び技術の習得					
	—	多自然地域の振興や課題解決に貢献するための幅広い知識及び技術の習得					
評価方法	出席50%、機械操作30%、態度20%						

授業計画	テーマ	講義内容
1～5	高性能林業機械操作実習	プロセッサ、グラブプル、スイングヤード、フォワード等の基本操作実習
6～10	高性能林業機械操作実習	プロセッサ、グラブプル、スイングヤード、フォワード等の基本操作実習
11～15	高性能林業機械操作実習	プロセッサ、グラブプル、スイングヤード、フォワード等の基本操作実習
16～20	高性能林業機械操作実習	プロセッサ、グラブプル、スイングヤード、フォワード等の基本操作実習
21～25	高性能林業機械操作実習	プロセッサ、グラブプル、スイングヤード、フォワード等の基本操作実習
26～30	高性能林業機械操作実習	プロセッサ、グラブプル、スイングヤード、フォワード等の基本操作実習
31～35	高性能林業機械操作実習	プロセッサ、グラブプル、スイングヤード、フォワード等の基本操作実習

テキスト	
参考書	
関連する資格	車両系建設機械(整地・運搬・積込み用及び掘削用)運転技能講習、走行集材機械の運転業務に係る特別教育、伐木等機械の運転業務に係る特別教育、簡易架線集材装置等運転業務に係る特別教育
備考	5コマ/日×7日授業で実施

科目番号	E B 2 1 0						
科目名	素材生産総合 実習						
担当教員				所属等	委託林業事業体		
	尾崎 真也				県立森林大学校森林教育専門員		
					ハスクバーナ・ゼノア(株)		
科目区分	林業機械			人材養成の方針	即戦力	リーダー	地域貢献
対象学年	2年			授業形態	実習		
開講時期	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	単位数	2	
授業時間数	39 コマ			(78 単位時間)			
実務経験のある教員による授業科目				—	左の実務経験の内容	—	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無				○	左の実務経験の内容	高性能林業機械オペレーター	
実務経験を活かした授業内容	高性能林業機械オペレーターの指導のもと、高性能林業機械の安全な操作技術を学ぶ						

目的	高性能林業機械の基本操作実習						
概要	プロセッサ、グラブプル、バックホウ、フォワーダ等の基本操作を習得する。						
キーワード	走行集材機械、伐木等機械						
関連する科目	林業機械学(技能講習等1a, 1b, 1c, d, 2)						
到達目標	○	森林林業の即戦力として活躍するための実践的な技能の習得					
	○	森林林業の次代のリーダーとなるための専門知識及び技術の習得					
	○	多自然地域の振興や課題解決に貢献するための幅広い知識及び技術の習得					
評価方法	態度50%、試験50%						

授業計画	テーマ	講義内容
1～4.5	高性能林業機械操作実習	プロセッサ、グラブプル、スイングヤード、フォワーダ等の基本操作実習
5.5～9	高性能林業機械操作実習	プロセッサ、グラブプル、スイングヤード、フォワーダ等の基本操作実習
10～13.5	高性能林業機械操作実習	プロセッサ、グラブプル、スイングヤード、フォワーダ等の基本操作実習
14.5～18	高性能林業機械操作実習	プロセッサ、グラブプル、スイングヤード、フォワーダ等の基本操作実習
19～22.5	高性能林業機械操作実習	プロセッサ、グラブプル、スイングヤード、フォワーダ等の基本操作実習
23.5～27	高性能林業機械操作実習	プロセッサ、グラブプル、スイングヤード、フォワーダ等の基本操作実習
28～31	伐倒練習機等による基礎技術の確認	伐倒練習機等を用いて技術の定着を確認する
32～35	伐倒練習機等による基礎技術の確認	伐倒練習機等を用いて技術の定着を確認する
36～39	伐倒練習機等による基礎技術の確認	伐倒練習機等を用いて技術の定着を確認する

テキスト	
参考書	
関連する資格	車両系建設機械(整地・運搬・積込み用及び掘削用)運転技能講習、走行集材機械の運転業務に係る特別教育、伐木等機械の運転業務に係る特別教育
備考	素材生産総合実習は、安全意識の定着を最大の目的として実施し、実習期間中、安全衛生規則に反するなど危険な行為が認められた場合、指導員が警告を行う。実習期間中、累積して警告を2回受けた者は、以降の実習参加を認めない。また、事故に直結するような重大な違反の場合は、直ちに実習地からの退出を命じ、退出後の実習参加は認めない。

科目番号	E A 2 1 1					
科目名	林業架線学 2					
担当教員	前嶋 昭	所属等	県立森林大学校森林教育専門員			
科目区分	林業機械			人材養成の方針	即戦力	リーダー 地域貢献
対象学年	2年			授業形態	講義・演習	
開講時期	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	単位数	2
授業時間数	15			コマ	(30 単位時間)	
実務経験のある教員による授業科目	-			左の実務経験の内容	-	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	-			左の実務経験の内容	-	
実務経験を活かした授業内容						

目的	林業架線作業に必要な知識を習得するとともに、あわせて林業架線作業主任者免許取得を目指す。	
概要	林業架線作業に必要な知識を習得。	
キーワード	林業架線、林業架線作業主任者	
関連する科目	林業架線学1、林業架線学実習	
到達目標	○	森林林業の即戦力として活躍するための実践的な技能の習得
	-	森林林業の次代のリーダーとなるための専門知識及び技術の習得
	-	多自然地域の振興や課題解決に貢献するための幅広い知識及び技術の習得
評価方法	筆記試験（免許試験・小テスト）80%、履修態度15%、出席5%	

授業計画	テーマ	講義内容
1	林業架線設計	架線設計について
2	林業架線設計	架線設計について
3	林業架線設計	架線設計演習
4	林業架線設計	架線設計演習
5	林業架線作業主任者演習	林業架線作業主任者免許試験のポイント
6	林業架線作業主任者演習	林業架線作業主任者免許試験のポイント
7	林業架線作業主任者演習	林業架線主任者免許試験（演習）
8	林業架線作業主任者演習	林業架線主任者免許試験（演習）
9	林業架線作業主任者演習	林業架線主任者免許試験（演習）
10	林業架線作業主任者演習	林業架線主任者免許試験（演習）
11	林業架線作業主任者演習	林業架線主任者免許試験（演習）
12	林業架線作業主任者演習	林業架線主任者免許試験（演習）
13	林業架線主任者試験	林業架線主任者免許試験
14	林業架線主任者試験	林業架線主任者免許試験
15	林業架線主任者試験	林業架線主任者免許試験

テキスト	集材機運転者安全必携：特別教育用テキスト（林業・木材製造業労働災害防止協会） 林業架線作業主任者テキスト（林業・木材製造業労働災害防止協会）
参考書	
関連する資格	林業架線作業主任者免許
備考	

科目番号	E B 2 1 1					
科目名	林業架線学 実習					
担当教員				所属等	委託林業事業体	
	古川 和繁				県立森林大学校	
科目区分	林業機械			人材養成の方針	即戦力	リーダー 地域貢献
対象学年	2年			授業形態	実習	
開講時期	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	単位数	2
授業時間数	30 コマ			(60 単位時間)		
実務経験のある教員による授業科目	-			左の実務経験の内容	-	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	○			左の実務経験の内容	林業架線作業主任者	
実務経験を活かした授業内容	林業架線作業主任者の指導のもと、架線集材に関する安全な操作技術等を学ぶ					

目的	林業架線作業に必要な技能を習得するとともに、林業架線作業主任者免許取得を目指す。					
概要	林業架線作業に必要な技能を習得。					
キーワード	林業架線、林業架線作業主任者					
関連する科目						
到達目標	○	森林林業の即戦力として活躍するための実践的な技能の習得				
	-	森林林業の次代のリーダーとなるための専門知識及び技術の習得				
	-	多自然地域の振興や課題解決に貢献するための幅広い知識及び技術の習得				
評価方法	態度50%、課題30%、出席20%					

授業計画	テーマ	講義内容
1～4.5	ワイヤーロープの取扱い	ワイヤーロープの止め方、つなぎ方、点検 特別教育
5.5～9	機械集材装置の点検・据付 機械集材装置の運転 主索の安全係数の点検	装置の点検と据付並びに運転、主索の安全係数 特別教育
10～13.5	機械集材装置の点検・据付 機械集材装置の運転 主索の安全係数の点検	装置の点検と据付並びに運転、主索の安全係数 特別教育
14.5～18	架線集材作業の事例調査等 集材架線設計実習	事例調査等
19～22	架線集材作業の事例調査等 集材架線設計実習	事例調査等
23～26	架線集材作業の事例調査等 集材架線設計実習	事例調査等
27～30	機械集材装置の撤収	装置の撤収等

テキスト	集材機運転者安全必携：特別教育用テキスト（林業・木材製造業労働災害防止協会） 林業架線作業主任者テキスト（林業・木材製造業労働災害防止協会）
参考書	
関連する資格	機械集材装置運転特別教育
備考	